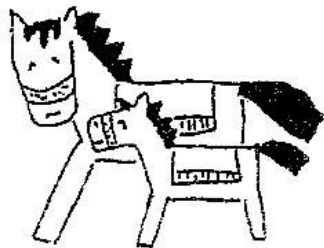


♪
お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと

29年 4月 NO.269



〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://oumanooyako.sakura.ne.jp/>

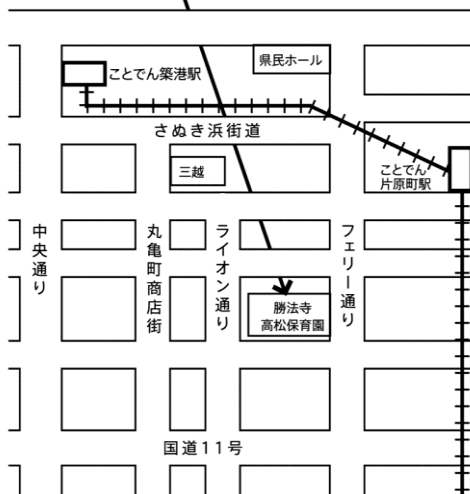
(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～		4月の主な活動	～お気軽にどうぞ～
4月 8日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスに入って いっしょにあそびましょう。
4月 15日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方も子育て 体験においで下さい。
4月 15日	土	おとなアート 14:00～16:00	数色の色画用紙をカットして台紙の上で 構成する直線コラージュを作成します。
4月 21日	金	おはなしの会 10:00～12:00	「うれしい春」をテーマに大型絵本やパネル シアターをします。どうぞおいで下さい。
4月 21日	金	健康・育児相談 11:00～12:00	園医師（小児科）にゆっくり 相談できます。（予約要）
4月 25日	火	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	「サヌキの奇人たち」について砂古口早苗氏 （フリーライター）に話していただき フリートークします。

・火～土の9:00～18:00までは、園内開放して
いますので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談（月～土）9:00～18:00
しつけや子育てについての悩み、保育園生活
入園・見学についての相談もどうぞ。

香川県高松市御坊町2-2
高松保育園 地域子育て支援センター



金子みすゞ全集④
「空のかあさま・下」より

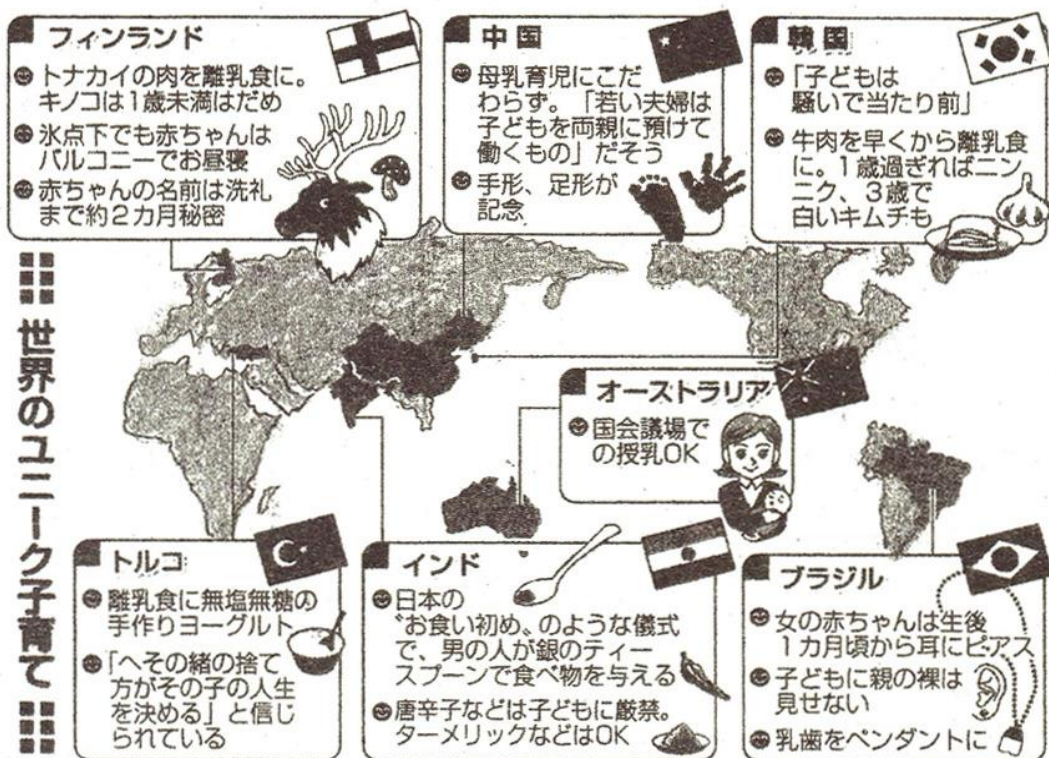
もしもみごとに咲いたなら、
どんなにその木はうれしから、
どんなに私もうれしから。
一度もあかい花咲かぬ、
つまらなそうな、森の木に、
灰のありたけ撒くんだよ。
さくら、もくれん、梨、すもも、
そんなものへは撒（ま）きゃしない、
どうせ春には咲くんだよ。
私はいいことするんだよ。
花咲爺（はなさかじい）さん、灰おくれ、
策（さる）にのこった灰おくれ、

灰



世界の子育て

子どもの健やかな成長はどのパパやママにも共通の願いだが、育児雑誌やインターネットなどにあふれる情報に触れると、自分の子育てが正しいのかどうか戸惑い、悩んでしまうことも多い。でも、国が違えば千差万別。ちょっとひと休みして、世界の子育てをのぞいてみれば…。



離乳食は？

赤ちゃんの成長には欠かせない離乳食。日本では「十倍がゆ」という、通常より水分多めのおかゆからスタートするのが一般的だ。海外ではどんな味で“食”を始めるのだろうか。

日本では肉類は脂肪が少なく消化に良い鶏のささみなどで始める。韓国では離乳食に慣れ始めるとすぐ、ミンチや細切りにした牛肉をおかゆなどに混ぜて与える。1歳をすぎるとニンニク、3歳頃には唐辛子抜きの白いキムチもメニューに加わる。

カレーの国インドでも、さすがに唐辛子やこしょうなど、刺激の強い香

辛料は乳幼児には厳禁。東京都内に住むインド人ベラ・チャンドラニさん(64)によると、ターメリックと塩、豆、野菜と動物性の脂で作った、おかゆ状の豆カレーを食べさせる家庭も。3歳頃には体に良いクミンやショウガもOKだ。

都内のトルコ人シミン・ハーロウさん(34)は「トルコの離乳食といえばヨーグルト。日本人にとっての米のようなもの」と話す。ヨーグルトは各家庭で手作りするのが主流。大人は塩や砂糖を加えるが、子どもには無塩無糖。それでも日本生まれの長男ケイダンちゃん(1つ)の大好物という。

トナカイの肉を食べる文化がある北欧フィンランドでは、ポテトとトナカイの肉をペースト状にした瓶詰の離乳食が売られている。その大きさにもびっくり。1瓶1食で、日本の瓶詰離乳食の4倍ぐらいある。一方、「キノコは消化に悪い」と1歳未満には与えない。

へその緒は？



赤ちゃん誕生の記念に、日本では母子のつながりの象徴である「へその緒」を大切に保存しておくものだ。遠く離れたトルコでもへその緒は特別な意味を持つ。「モスクの中庭に埋めると信心深い子に」「学校の庭に投げ込むと教養のある子に」など、へその緒の捨て方で子どもの人生が決まると信じられている。

ブラジルでは乳歯をペンダントにしてその子が結婚する時にプレゼントする。中国では生まれたての手形や足形が記念となる。

子どもに関する習わしも面白い。インドの“お食い初め”は、母親の弟など、男性が銀のティースプーンで食べさせる。フィンランドでは、赤ちゃんの名前は洗礼を受けるまでの約2か月間は秘密。役所にも後から届け出る。また出産直後になぜか父親が男友達と集まって羽目を外すそう。

ブラジルでは女の子が生まれると「女の子の証し」として生後1か月で耳にピアスの穴を開ける。「親から授かった体を傷つけないように」との教えが残る日本とは大違いだ。

しつけは？

電車やバスでの子連れ移動は、パパやママにとって緊張の連続。騒いで走り回る子どもに「騒いじゃだめ」「周りの迷惑でしょ」としつける親たちの姿は日本では珍しくないが、2人の娘を育てる川崎市の韓国人朴芝賢さん(36)は驚いた。「韓国では子どもが騒ぐのは当たり前。赤ちゃん連れで焼き肉にも行くし、親が食べている間、他の客が面倒を見てくれます」。どれだけ混雑していても優先席は空いていて、子連れや妊婦が肩身の狭い思いをする日本とは大違いだという。

受験大国・韓国の教育熱は乳幼児期から。「子ども向けの知育本は30冊単位。家の中がミニ図書館みたいになります」

ブラジルでは子どもが成長しても親子のハグやキスを欠かさないが「親子でお風呂に入る日本の慣習は信じられない」と浜松市在住の日系ブラジル人椎木豊美マリアさん(46)。「子どもの体を洗う時でも親は服を着たまま裸は見せない。寝室も分けます」

赤ちゃんを外でお昼寝させる習慣があるフィンランド。「氷点下の真冬でも厚手の服を着せ、ベビーカーに乗せてバルコニーで寝かせるわ」と東京都内に住むマリア・ココさん(37)。肺機能の強化など効用には諸説あるという。

フィンランドではスーパーやコンビニでもおむつや市販の離乳食などが並ぶ。「日本ではコンビニで見掛けることはまずない。とても不便ね」

日本の子育て環境に感動したという声も。2人の娘を育てる浜松市の日系ブラジル3世オオニシ・アレッサンドラ・サイトウさん(37)は「治安の良さが何より。児童手当や医療費助成などの子育て支援もありがたい」。

トルコ人のシミン・ハーロウさん(34)は「産後、自治体の保健師が自宅に来てくれる制度は素晴らしい」と話す。

「保育と幼児教育版」より

